

事務事業評価シート（評価実施年度：平成27年度）

上位の施策名称 施策Ⅱ-5-1 道路網の整備と維持管理

1. 事務事業の目的・概要

事務事業担当課長 道路維持課長 山崎 泰助 電話番号 0852-22-5187

事務事業の名称	道路台帳整備事業	
目的	(1) 対象	道路の現況に関する情報
	(2) 意図	適切な道路の整備、維持管理
事業概要	適切な道路の整備、維持管理を行うため、 ・道路台帳平面図、構造物調査、道路現況調査を整備するとともに、台帳平面図をもとに普通交付税交付金要求の資料を作成する。	

2. 成果参考指標

(1) 成果参考指標	指標名	式・定義	年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	単位
			指標名	道路台帳整備延長	目標値		26.30	50.70	
		道路改良工事を行ったことにより道路台帳を整備する延長	実績値	29.40	23.80	39.30	22.60		
			達成率		90.50	77.50	59.20		%
	指標名		年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	単位
			目標値		0.00	0.00			
			実績値	0.00	0.00	0.00			
			達成率		0.00	0.00			%

3. 事業費

	26年度実績	27年度計画
事業費(b) (千円)	13,093	13,093
うち一般財源(千円)	13,093	13,093

4. 改善策の実施状況

前年度の課題を踏まえた改善策の実施状況	②改善策を実施した（実施予定、一部実施含む）
---------------------	------------------------

5. 評価時点での現状（客観的事実・データなどに基づいた現状）

H23～H26年度において、改良工事等の完成により供用告示した道路延長を基に、翌年に台帳整備を計画した延長に対する、H24～H26における達成率が年々下がっている。（H26では59.2%）

6. 成果があったこと（改善されたこと）

H26では、前年度の供用告示延長を基に計画した道路台帳整備延長38.2kmに対し、22.6kmの道路台帳整備を行った。
達成率は59.2%にとどまったものの、前年度供用告示箇所他に、台帳整備が未了であった99.3kmについて整備を完了した。

7. まだ残っている課題（現状の何をどのように変更する必要があるのか）

①困っている「状況」

毎年台帳整備が計画通りに進んでいない。

②困っている状況が発生している「原因」

毎年、計画している台帳整備箇所数は多数（H26の計画箇所数は141箇所）あるが、規模の小さいものも多く、箇所ごとの手続きに対する進捗状況のチェックが行き届いていないこと。
また、市町村に移管する手続きが遅延して計画通りに台帳整備が進まないケースもあった。

③原因を解消するための「課題」

小規模多数にわたる台帳整備計画箇所が確実に実施されるよう、定期的に進捗状況をチェックする体制づくりが必要。また、毎年の積み残しを含め、台帳整備をより計画的に進める必要がある。

8. 今後の方向性（課題にどのような方向性で取り組むのかの考え方）

改良工事の担当者と同様に台帳整備の担当者同士の連絡を密にし、適期に進捗状況の確認を行うとともに、台帳整備未了箇所の把握とその計画的な解消を実施するよう実施担当部署への指導を徹底する。

◎課（室）内で事務事業評価の議論を行うにあたっては、本評価シートのほか、必要に応じて、「予算執行の実績並びに主要施策の成果」や既存の事業説明資料などを活用し、効率的・効果的に行ってください。

◎上記「5. 評価時点での現状」、「6. 成果があったこと」、「7. まだ残っている課題」、及び「8. 今後の方向性」について、議論がしやすいように、「5. 評価時点での現状→6. 成果があったこと」、又は「5. 評価時点での現状→7. まだ残っている課題→8. 今後の方向性」が一連の流れとなるよう、わかりやすく、ストーリー性のあるシート作成に努めてください。

9. 追加評価（任意記載）